

令和6年度

事業計画書



社会福祉法人 敬和会

高齢者生活支援施設 けいわ荘
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
厚木市荻野地域包括支援センター
えまーぶる
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）
けいわ保育園
けいわ星の子保育園

令和6年度 事業計画書

社会福祉法人 敬和会

高齢者生活支援施設 けいわ荘
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
荻野地域包括支援センター
えまーぶる
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）

はじめに

理事長 小島 操

今年度は、初心に立ち返り、社会福祉法人の使命を改めて確認し、行動してまいります。

法人理念も高齢・保育が見える文言に改めました。

社会福祉法人に携わる者として、大切にしなければならない事は、ご利用者、子供達の尊厳と安心安全に生活が送れるよう支援することです。また、それを実現するためには、職員の責務は大きなものがあります。

職員一人ひとりが法人の理念に基づき、主体的に行動できますよう働きかけていきます。

施設長、園長、法人本部で行っている施設連絡会で提案される運営マネジメント等の新しいアイデアにも積極的に取り組み、高齢・保育がより良く共に成長していけますよう努めてまいります。

令和6年元日に発生しました能登半島地震で災害の大きさ、酷さを改めて実感しました。

万が一の時には、利用者のみならず、地域の方々、職員、そしてその家族にも備蓄品や居場所の提供等がしっかりとできるよう、今一度見直しを図り、十分な体制を整えます。

そして、これからも持続可能な社会福祉法人として経営、運営が順調に進めていかれますよう、役職員一同努力してまいります。

施設長 関 紘太

令和6年度は、新たな法人の経営理念を基盤とし、長年かけて築き上げた伝統を更に昇華するべく、社会福祉法人としての原点を見つめ直し、新しい施策も取り入れ邁進していきたいと思っております。

法人運営を取り巻く大きな変化に令和6年度の介護保険改正が関係してまいります。敬和会としては、最新情報の収集を怠ることなく、安定的な経営を維持していくために、Ⅲ. 法人経営計画を策定しました。

I. 法人の経営理念

～すべての人に敬愛の情をもって接し地域の安らぎと和をなす法人であれ～
地域の方々と向き合うための安らぎと和を築くために、あらゆる人々との交流において、敬意と感謝の念を持ちましょう。

理念に基づく私たちの5つの誓い

1. 私たちは共生と地域連携を推進します。
地域社会との協力と協働を重視し、介護を必要とする高齢者や、保育サービスを必要とする子どもたちを支援するために地域の資源と連携を図ります。地域の特性やニーズに応じたプログラムやサービスを提供し、地域コミュニティの一員として貢献します。
2. 私たちは個別ニーズへの柔軟な対応をします。
子どもたちから高齢者まで、個別のニーズを理解し、それに合わせたサービスやケアプラン・支援計画を提供します。個々の利用者や家族との密なコミュニケーションを重視し、ご利用者中心のケア、支援を提供します。
3. 私たちはご満足いただけるサービスの提供を目指します。
運営する全ての福祉事業において安全で質の高いサービスを提供します。専門的なスタッフの育成と継続的な研修を行い、その時代とニーズに応じた最良のケア方法や支援方法を導入します。
4. 私たちは経済的な持続可能性を確保するための工夫と努力をします。
経営的な側面でも持続可能な運営を目指します。効率的な財産管理や収益の最大化を追求しながら、社会的な使命を果たすことに重点を置きます。
5. 私たち自身が全てのスタッフの幸福と成長の促進を支え合います。
スタッフの働きやすさと成長を重視します。適切な労働条件や福利厚生のもと、教育やトレーニングの機会を提供し、スキルアップを支援します。スタッフのやる気と充実感を高め、サービスの質と利用者満足度の向上につなげます。

Ⅱ. 経営の基本方針

- 公益性
個人が人として尊厳をもって、家庭や地域の中で、その人らしい安心のある生活が送れるよう支援してまいります。
- 継続性
利用者のニーズの多少に関わらず、個人に必要なきめ細やかな福祉サービスを継続して提供してまいります。
- 透明性
公的な負担(税金)によって行われる事業であることを自覚し、積極的な情報開示、情報提供を行ってまいります。
- 倫理性
公正、誠実な倫理観に基づく法人経営を行ってまいります。
- 非営利性
事業経営で得た成果は、社会福祉事業の発展や地域の生活課題や福祉事業に還元し、地域福祉の充実に努めてまいります。
- 開拓性
目の前の課題に対して、何が必要なのか。そして、改善のためにはどうすればいいか。従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法や仕組みを考え、創り出してまいります。
- 組織性
良質な福祉サービス、地域の課題やニーズに応えられる人材育成及び組織の強化を図ってまいります。
- 主体性
社会福祉法人としての自主性・自立性を発揮し、積極的に事業に取り組んでまいります。
- 機動性
地域の福祉課題・ニーズ及び制度の変化に素早く対応してまいります。

Ⅲ. 法人経営計画

(Ⅰ) より強固な法人組織づくり

- ・職員階層ごとに与えられた職務を全うすることができるよう、役割を可視化し明確に業務にあたることができるよう努める。
- ・直面している問題意識を共有し、生活支援課、地域支援課共に協力体制を構築し、どのような課題に対しても対応することができる強固な組織基盤を構築する。
- ・コロナ禍において自粛を強いられていた地域における繋がりを再度見直し、積極的に交流をはかることができるよう、リスクマネジメント体制を再確認し、各事業所が業務にあたるよう努める。

(Ⅱ) 収支と財務管理

- ・令和6年度介護報酬改正内容を適切に把握し、情報共有を行う。
- ・経営戦略会議にて算定することができる加算、及び経営に関わる内容を吟味し、安定収入として紐づける。
- ・各事業所稼働率目標と実数値を可視化し、数値明確化のもと、運営に取り組む。

(Ⅲ) 人材の育成と定着

- ・職員一人ひとりの個性を尊重し、運営に活かすことができるよう、柔軟な考えのもとチームづくりを行う。
- ・各事業所、部署それぞれに職員の思いが共有できる時間をつくり、チーム意識の醸成に努める。

IV. 法人経営計画実現への七つの視点

(Ⅰ) 「利用者の視点」

経営理念の根幹にあるものは、利用者の方々に対する質の高いサービスを提供し続けることであり、利用者を中心に考え、行動する経営に努めてまいります。

(Ⅱ) 「職員」の視点

利用者の方々に質の高いサービスを提供し続けるためには、サービスを担う職員が最も重要な法人の財産であるとの考えから、職員の育成に努めてまいります。

(Ⅲ) 「地域」の視点

地域課題を地域の人々と共に解決すべく、けいわ荘を拠点とした取り組みを進めてまいります。

(Ⅳ) 「業務」の視点

けいわ荘を経営することに伴う人的・施設的な機能を最大限活用し、その機能を発展させてまいります。

(Ⅴ) 「開発」の視点

漠然と施設経営を行うのではなく、常に職員一人ひとりの「気づき」を活かし、開発と実践に取り組み続けます。

(Ⅵ) 「財務」の視点

収入に見合った柔軟な経営を行い、財務構造の健全化に努めてまいります。

(Ⅶ) 「情報開示」の視点

職員一人ひとりが経営感覚をもって業務を遂行するとともに、利用者等への説明責任を果たし、経営の透明化に取り組み続けます。

V. 重点取り組み事項

今年度の重点取り組み事項として、以下の3点をあげました。

- (Ⅰ) 敬和会組織の継続的安定
- (Ⅱ) 安定的持続可能な健全経営
- (Ⅲ) 職員育成と定着へのシステム構築

VI. 部門別事業計画

1. 生活支援課

〔基本目標〕

- ① 地域の中で高齢者介護の拠点として、安心出来るサービスを提供し選ばれる施設を目指す。又、災害発生や感染症が流行した場合等も業務継続が出来る様に訓練・研修等を実施していく。
- ② 安定した稼働率を維持する為に、関係機関との連携を図り迅速な入退所を実践していく。又、新規加算の取得を目指し、収入確保に努める。
- ③ 職員ひとり一人が専門職として意欲的に働ける職場作りを実践する。その為に技術や知識を学べる機会を設け、個々のスキルアップを図る。又、チームケアを意識し、相乗効果のある関係性を構築していく。

1) 生活相談員

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	敬和会組織の継続的安定	(a)他職種との連携 (b)ご利用者やご家族との信頼関係の構築	(a)他職種と情報共有をしながら、チームケアに取り組む (b)連絡・報告・相談を行う事で、ご利用者やご家族の想い・希望に沿うケアを実施し、選ばれる施設を目指す
(II)	安定的持続可能な健全経営	(a)95%以上の稼働率の維持 (b)営業活動	(a)空床期間の短縮を実践する為に事前に必要書類を依頼する (b)ケアマネや老健、有料の相談員等と入所に係る関係各機関と情報交換を実施していく
(III)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)研修への参加 (b)資格取得	(a)研修に参加する事で、色々な知識や情報を得る事で、個々のスキルの向上を図る (b)必要な資格の取得を目指す

2) ケア第一（さざんか・コスモス）

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	敬和会組織の継続的安定	(a)サービスの質の向上に向けた組織的な仕組みづくり	(a)ご利用者のご意向を各担当でくみ取り日常のサービスへ反映。業務を見直しサービスの質

		(b)組織力の強化 (c)感染症対策	の向上を図る (b)各フロア又はキャリア別に分け、職員間の意見交換、情報共有の場を設けチームワークの向上を図る (c)状況に合わせ、BCPの見直しをしていく。又、日々の感染予防に努める
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)安定した収入の確保 (b)法令遵守した運営 (c)ご利用者に合わせた統一ケアの実践	(a)新規短期入所ご利用者を積極的に受け入れ、継続利用して頂けるようなサービスを提供していく (b)ケアプラン、ケア記録の記載方法を見直す (c)安心・安全な生活を送れる支援の為、事故予防・防止の強化を図る
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)労働環境の整備 (b)人事評価 (c)資格取得のための研修を案内、施設内外の研修への参加の促進	(a)有給休暇の取得、職員間のコミュニケーションが図れる機会を設け、働きやすい環境を構築していく (b)人事評価、面談、評価基準の可視化を行い個々のスキルアップややりがいを見出す (c)－1 資格取得の意向を確認し、情報を開示していく (c)－2 施設内、外部研修への参加、各職員のキャリアに合わせた研修への参加を促す

3) ケア第二（陽だまり）

	重点取り組み事項	達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)サービスの質の向上に向けた組織的な仕組みづくり (b)組織力の強化	(a)多職種との情報共有・連携を強化し、個々に必要なサービスを提供していく (b)報連相の周知徹底と職員間でコミュニケーションを取り、協力し合える環境作りを実践してい

		(c)感染症や災害が発生した場合の日頃から備え、業務が継続できる体制の強化	<p><</p> <p>(c)－1 感染症予防を実施していく</p> <p>(c)－2 状況に合わせBCPの見直しと更新をしていく</p>
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	<p>(a)安定した収入の確保</p> <p>(b)法令遵守した運営</p> <p>(c)空床をできるだけ作らず、入所希望者が速やかに入所できる体制強化</p>	<p>(a)短期入所の新規利用者を積極的に受け入れ、信頼関係を築く事で継続利用に繋げる</p> <p>(b)－1 ケアプランに沿ったケアの提供を実施していく</p> <p>(b)－2 記録の記入漏れが無いよう、確認作業の実施していく</p> <p>(c)－1 安定した生活や健康が維持できるように、日々の様子を観察しながら個々のニーズの合った支援をしていく</p> <p>(c)－2 怪我による入院で空床を作らない様、事故を未然に防止していく</p>
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	<p>(a)労働環境の整備</p> <p>(b)人事評価</p> <p>(c)資格未取得の職員に対し、資格修得のための研修を受講する</p>	<p>(a)－1 有給休暇取得により、心身に健康に働ける環境を作る</p> <p>(a)－2 職員間で意見交換しやすい環境を構築していく</p> <p>(b)人事評価が明確化になる様に、面談等で助言や育成を実践していく。</p> <p>(c)－1 職員の資格の確認及び、意向を把握する</p> <p>(c)－2 資格取得の為の情報提供をしていく</p>

4) ケア第三（さくら・ひまわり）

	重点取り組み事項	達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	<p>(a)サービスの質の向上に向けた仕組みづくり</p> <p>(b)組織力強化</p>	<p>(a)ご利用者のご意向をくみ取りながら、業務を見直しサービスの質の向上を図る</p> <p>(b)スタッフ間での意見交換、情報共有の場を常に持ちチームワークの向上を図る</p>

		(c)感染対策の実施	(c)－1 手洗い、換気、消毒の実施 (c)－2BCP を定期的に確認し災害、感染症発生時に備える
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)経費削減対策事項の実施 (b)地域行事に参加、交流を持つ	(a)－1 部署での削減対策事項の実施と実施できているかの確認を行なう (a)－2 必要物品の見直しをする (b)荻野地域包括と連携を取り、ご利用者が地域行事へ参加する事で、地域の方々との交流を図る
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)労働環境の整備 (b)各個人の目標設定、実施と評価 (c)研修への参加	(a)職員間で良好な関係が保てるようコミュニケーションが取れる場を作る (b)人事評価を活用し、各個人の目標設定、実行、評価を行ない個々のスキルアップ、意欲を引き出す (c)施設内研修への確実な参加と施設外研修への参加の促しを行なう

5) 施設ケアマネージャー

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)サービスの質の向上に向けた組織的な仕組みづくり (b)組織力の強化 (c)感染症や災害が発生した場合に日頃から備え、業務が継続できる体制の強化	(a)個別性のあるケアプランの作成を行いサービスの質の向上を目指す (b)ケアマネ同士の情報共有・意見交換の場を設ける (c)－1 感染症対策に努める (c)－2BCP の把握に努める
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)安定した収入の確保 (b)法令順守した運営	(a)自立支援促進加算の取得を目指し、自立支援計画とケアプランがしっかりと連動しながらケアができるよう対策をたてる (b)書類の不備・不足がないよう確認する

		(c)ご利用者の状態変化に速やかに対応したケアプラン作り	(c)状態の変化や看取りケアの見極め等多職種で相談しケアプラン見直しをする
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)労働環境の整備 (b)ケアマネ資格に関心を持ってもらう(後進育成) (c)スキルアップのための研修を受講する	(a)話しやすい、相談しやすい職場環境の構築 (b)ケアマネ業務を知り興味関心を持ってもらえるよう職員と関わっていく (c)研修参加や同職者との関りの機会など持ち個々のスキルアップや自信に繋げる

6) 医 務

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)多職種間の連携 (b)看護師間の協働 (c)感染対策の継続と災害時の対策	(a)-1 情報共有に努め専門性を生かすことでチームワークを強化できるようにする (a)-2 それぞれの部署、事業所だけのサービスではなく、つながったものになるよう総合的な視野で展開していく (b)-1 日々のコミュニケーションを大切にし個別に対応、決定することがないよう相談しながら進められる環境づくり (b)-2 定期的なミーティングにより意識の統一を図る (c)-1 感染症の拡大を防ぐこと (c)-2BCP の定期的な見直し (c)-3 災害発生時の対応について、看護師間で協議する
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)ご利用者の健康管理 (b)医療機関との連携	(a)-1 ご利用者の状態を日々把握し、変化の早期発見対処を行う (a)-2 ご利用者やご家族の意向に沿ったケアの実施 (a)-3 看取りケアの実施 (b)-1 囑託医と密に連絡を取り情報の共有に努める

		(c)入所者、ショートステイご 利用者の受け入れ体制を整 えておく	(b)-2 医療機関への受診、入院の 際に必要な情報提供を行う (c)-1 スムーズに入所できる体制 (c)-2 ロングステイの受け入れ (c)-3 積極的にショートステイの 受け入れを実施
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシス テム構築	(a)働きやすい環境 (b)施設内研修などの参加	(a)-1 相談しやすい環境づくり (a)-2 無理のない勤務と休日のバ ランス (a)-3 フォローし合えるようにチ ーム力を高める (a)-4 適性を考慮した分担 (b)-1 受講後のカンファレンスの 開催 (b)-2 業務上必要な事例検討

7) 栄 養

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)営業活動の強化 (b)組織体系を整理し、法人一 体となって事業を行うこと が出来るよう努める (c)委員会、会議体を整理し、 課題に対してより深く取り 組む (d)利用者の栄養リスクの低減	(a)-1 安心、安全な食事提供に努 める (a)-2 食事を通じたPR活動を行 う(けいわ荘便りなど) (b)-1 多職種連携(イベント食、 ミールラウンドの実施、ケアカ ンファレンス、包括と連携した 地域イベントへの参加) (b)-2 敬和会栄養部門での情報共 有、協力体制の構築 (c)年度初めに委員会における年間 目標の設定、達成に向けて努め る (d)-1 質の高い栄養ケアの継続を 行う (d)-2 やせ(BMI18.5未満)の割 合を2023年度20%から3% 減の17%を目指す
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経 営	(a)コスト削減	(a)-1 利用者人数に合わせた発注 や適正在庫量の管理による食材

		(b)介護報酬改定による対応	<p>料費の安定</p> <p>(a)－2 定期的な商品や取扱い業者の選定を定期的に検討する</p> <p>(b)介護報酬改定の勉強会への参加、業務への落とし込み</p>
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	<p>(a)働きやすい環境</p> <p>(b)目的を強く意識する組織</p> <p>(c)信頼し何でも言い合える仲間</p>	<p>(a)定期的な職員面談、風通しを良くし「ありがとう」があふれる職場づくり</p> <p>(b)明確な個人目標を掲げ、常に念頭に置き行動する</p> <p>(c)ミーティングにて活発な意見交換をする。個性を活かし、各々が信頼できる時間を共有する</p>

2. 地域支援課

〔基本目標〕

- ① 各事業所の課題を「地域支援課の課題」として捉え、連携して対応します。
- ② 2024年度介護保険制度改正に対応出来る体制を整えます。
- ③ 地域主催のイベント等の行事に参加し連携が取りやすい関係性を構築します。

1) 居宅介護支援

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	敬和会組織の継続的安定	(a)地域とのつながりをもつ (b)感染症や災害の発生における業務遂行の体制の強化 (c)組織力の強化	(a)情報を把握し、地域包括主催の行事に参加していきます (b)BCP(事業継続計画)の見直しを行い、有事の際に動ける様に研修を行います (c)法人内委員会や会議などに参加し情報を共有し課題に積極的に取り組んでいきます
(II)	安定的持続可能な健全経営	(a)平均 35 件以上を担当 (b)法改正後の加算への対応	(a)－1 担当件数を把握し、35 件以上を確保します (a)－2 SNS、HP を活用し、空き状況を発信、新規獲得へ繋がります (b)加算に必要な研修に参加し、継続して算定出来るようにします
(III)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)離職率 0%を維持する (b)個々のケアマネジメントのスキルアップ	(a)－1 月に 1 回以上の個別面談を行い相談し易い環境を作ります (a)－2 事前に希望休を確認する等、働きやすい環境を整えます (b)－1 計画をたて、上位資格の取得や個々のスキルアップに繋がる研修へ参加します (b)－2 個別面談内で悩み等を共有しコーチングを行い、気付きを促します

2) 短期入所生活介護

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)短期入所の位置づけを今以上に明確にしていく (b)地域の中の敬和会を意識し、地域に根付けるようにする	(a)日常業務の中で、機会あるごとに関係職員に簡単明瞭に伝えていく (b)地域包括、居宅事業所との連携、情報共有をしていく
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)空床を意識し、稼働率を90%維持していく (b)利用しやすい環境の構築	(a)-1 入所前提にした長期利用を積極的に受け入れていく。 (a)-2 ホームページを活用し、空床を伝えていく (b)関係事業所との良好且つ双方が信頼できる関係をつくる
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)明るい職場環境の構築。	(a)それぞれが置かれている職種の環境を受容し共感していく。また、多職種での関わりを大切に業務に励んでいく

3) 通所介護

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)多職種連携体制の構築 (b)相互信頼(エンゲージメント)の向上 (c)感染症や災害への対策強化	(a)多職種と行事、各種相談・報告を通して友好的な関係を構築し、信頼される事業所づくりを行う (b)委員会や会議、研修参加を勧奨し、個人が組織になくてはならない存在であると自信を持つ機会をつくる (c)-1 日頃より、内部・外部事業所と連携を保ち、情報交換を行なっていく (c)-2 デイ内研修を通してBCPの根本的理解と現場での実際の運用を想定し、有事の際にも安定した業務の継続を図る
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)業務効率化	(a)他複数事業所への見学を実施。俯瞰的視点から、手間をかける

		(b)月平均27名の利用者数維持	べき仕事、簡略化できる仕事を可視化し、職員間で共有、改革を行っていく (b)ー1 事業所のカラー、特色を明確にし、各方面へアピールする手段を検討、実施する (b)ー2 改修したハード面を活かした業務を行い、利用者の満足度向上へ繋げる
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)職員の育成方法を確立 (b)独自ルールの見直し (c)当事業所に適したスキルの習得	(a)ー1 適切な職員育成期間と現状課題を職員間で話し合い、実施する (a)ー2 OJTの中で職員自身の振り返りを行い、成長とスキル向上を図る (b)今までの習慣、独自ルールについて見直す機会を持つ (c)研修内容を精査し求められるスキルを全職員が習得する

4) 訪問介護（含. 障害福祉サービス）

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)安心・安全に基づいた、サービスの提供 (b)組織力の強化 (c)感染症や災害の発生における業務遂行の体制の強化	(a)利用者の心身の状態に配慮しながら、計画に沿ったサービスを提供します (b)各委員会や会議体に参加し、置かれた課題に積極的に取り組みます (c)BCPに沿った訓練や、感染源にならない予防対策の研修を、定期会議時に年2回行います
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)情報収集の強化 法改正への対応と適応 (b)稼働率目標と実数値の可視化	(a)地域支援課会議に参加して、情報を収集、共有し、状況把握に努めます。また、法改正に対応した運営方法を確立します (b)一日ルート単価1人¥18000を意識し、空き状況をHPにて開示し新規取得へ

			繋げます
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)職員の介護スキルの向上 (b)報・連・相の徹底	(a)専門職としての知識や技術が 発揮できる、発言できる環境を 月1回作ります (b)月1回のヘルパー会議や、困 難事例発生時には、その都度ミ ーティングを開き情報を共有 します

3. 荻野地域包括支援センター

〔基本目標〕

- ① 各事業所の課題を「地域支援課の課題」として捉え、連携して対応します。
- ② 2024年度介護保険制度改正に対応出来る体制を整えます。
- ③ 地域主催のイベント等の行事に参加し、連携が取りやすい関係性を構築します。

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)地域支援課との連携強化 (b)受託の継続 (c)感染症や災害の発生時における日頃の備え、業務継続できる体制強化	(a)包括主催イベント等への協力、参加の声かけを行い、地域との繋がりを構築 (b)仕様書に基づいた事業の実施 (c)BCP（事業継続計画）の見直し、行政との協議や連携
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)地域住民や行政から信頼の獲得 (b)介護保険制度改正に対応できる体制の構築 (c)関係機関とのネットワーク構築	(a)地域診断に基づいた地域課題を抽出し、地域特性に合わせた地域づくり (b)ケアマネ連絡会、事業所向け研修による情報交換 (c)気兼ねなく相談できる包括としての日頃からの連携
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)専門性の発揮とやりがい (b)人事評価の適正 (c)チームワーク	(a)専門性を生かせるよう研修等への参加、自己研鑽からのスキルアップ (b)人事評価にて、個々のスキルアップややりがいを見出す (c)一人で抱え込まない、お互いを尊重し互いに声をかけあう環境づくり

4. ケアプランセンターけいわ

〔基本目標〕

- ① 各事業所の課題を「地域支援課の課題」として捉え、連携して対応します。
- ② 2024年度介護保険制度改正に対応出来る体制を整えます。
- ③ 地域主催のイベント等の行事に参加し、連携が取りやすい関係性を構築します。

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)地域性に沿った支援の提供 (b)感染症や災害が発生した際の業務遂行の体制の構築	(a)各地域包括支援センターと連携し、研修等への参加もして行く (b)地域と連携した対応強化
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)基準件数である35件以上の確保 (b)介護報酬改定事項への対応	(a)空き状況の発信し安定した収入の確保へ繋がる (b)改定の決定事項について理解し、対応できる体制を構築する
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)労働環境の整備 (b)自己研鑽の機会の提供	(a)働きやすい職場環境作りの継続 (b)必要な研修等への参加機会を提供する

5. えまーぶる

〔基本目標〕

- ① 組織力の強化
- ② 稼働率の向上
- ③ 職員のスキルアップ

1) 通所介護事業所えまーぶる

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)明確な経営理念やビジョンを、経営層と従業員とで共通認識し、組織の活性化を図る。 (b)サービスの質の向上・職員のスキルの向上 (c)感染症や災害に日頃から備え、業務が継続できる体制の強化（BCP）	(a)－1 仕事をするうえで組織の中で自分の仕事はどういった貢献になるのか、どのような役割を担っているのか明確にし、理解を促す (a)－2 職員会議開始時には全体で理念の唱和を実施。理念の理解と浸透を図る (b)スキルの向上を目的とした研修に参加 スキルを上げることでサービスの質の向上と共に人件費のコストを抑え、それに必要な資源に投入することを可能にする (c)定期的にBCP訓練を行い、課題点は随時改善していく
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)業務プロセス見直しによる無駄の削減 (b)稼働率 90%	(a)実際の業務に関する問題点、改善点を洗い出し互いに認識し、改善を図る (b)稼働率を上げるために、各自が役割を認識し、目標を統一する
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)人材育成の重要性を認識する	(a)人材育成を施設の課題として、全体に向けてメッセージを伝え、進めていく また一人ひとり職員に対して、しっかりと施設の方針や

		<p>(b)業務において評価基準を統一する。</p> <p>(c)職員の育成を図る。</p>	<p>思いを伝え、加えて上司は、職員のフォローをしていく</p> <p>(b)学びや成長の機会を提供したうえで各々の意欲や頑張りに応じて、評価されたり認められたりする事で職員のモチベーションを上げる</p> <p>(c)-1 新人、中堅それぞれどのような教育が望ましいかなど計画し、計画に沿って育成を行う。必要な能力を向上させることを目的とした研修を行う</p> <p>(c)-2 仕事に面白みを見い出すような研修の参加の機会を提供する</p>
--	--	--	--

2) 居宅介護支援事業所えまーぶる

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	<p>(a)サービスの質の向上を目的とした職務の強化</p> <p>(b)法人の一員として信頼関係を深められる対応が出来る</p> <p>(c)感染症や災害が発生した場合に日頃から備え、業務が継続できる体制の強化</p>	<p>(a)多職種との連携により、専門性をもった提案や対応</p> <p>(b)各自の業務が法人の運営につながっている事を意識し業務にあたる</p> <p>(c)BCP(事業継続計画)策定後も緊急時に備え平時から、避難訓練や緊急連絡先の確認を実施</p>
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	<p>(a)標準件数 35 件以上の確保</p> <p>(b)特定事業所加算算定の継続</p> <p>(c)業務効率化と経費削減</p>	<p>(a)利用者定数を満たし、柔軟な新規受け入れ</p> <p>(b)算定用件の順守</p> <p>(c)移動手段として電動自転車を活用し、経費削減と時間短縮を図る</p>
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	<p>(a)施設・外部研修への参加</p> <p>(b)法定研修の参加</p> <p>(c)労働環境の整備</p>	<p>(a)ICT を活用した研修への参加及び推進</p> <p>(b)必須研修への参加</p> <p>(c)休暇が取りやすい体制作り</p>

6. ケアハウスえがりて

〔基本目標〕

- ① ご入居者様の生活において可能な限り自己決定を尊重し、心身共に自立支援に基づいた暮らしのサポートに努めます。
- ② 安心・楽しみ・調和のある生活の場の提供に努め、ご本人やご家族共に“えがりてで暮らして良かった”と感じて頂ける支援に努めます。
- ③ コスト意識（光熱費、備品の管理、買物ポイントの活用や節約の工夫など）を念頭において業務に当たる事や、安定的な入居者数の確保のために新規入居者や待機者の獲得、地域事業所との連携、広報、老人ホーム検索サイトの活用など多角的に活動します。

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	敬和会組織の継続的安定	(a)多職種の連携によりケアハウスの業務を安定的に運営する (b)災害時発生時の対応を再確認して備える	(a)利用している介護サービス事業所との連携、効力態勢を構築する (b)避難対応の見直し、非常時の備えの見直し、入居者との非難訓練や災害対応マップの作成など
(II)	安定的持続可能な健全経営	(a)高い稼働率の確保 *年間平均28名以上確保 (b)心身の安定を図る事により長く入居していただく	(a)地域事業所や取引のある紹介業者との連携。検索サイトやホームページ、Instagramでの広報活動 (b)余暇活動や生きがい活動、健康維持のためのサービスを展開し心身の健康維持や増進に寄与する
(III)	職員育成と定着へのシステム構築	(a)ケアハウスの専門性やスキルの構築に努める (b)協力し合える人間関係や信頼し合えるチーム作り	(a)研修参加の他、軽費老人ホームの特性や特徴を理解して業務に取り組めるむよう、情報共有や知識研鑽に努める。 (b)連絡帳の活用、ミーティングでの情報確認 自身の役わりを自覚しながら業務にあたるよう、面談や普段の業務で相互理解を深める

7. 管財課

〔基本目標〕

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症移行」になり、今後は自主的な対応に変わりました。現在は通常通りのメンテナンス業務を行っておりますが、外出規制がゆるくなりましたので、引き続き感染予防を徹底しながらの業務を行いたいと思います。

懸案事項でありました本館非常用発電機の設置工事は、国・神奈川県・厚木市の補助を頂きまして完成の見込みとなりました。能登半島地震のような大地震への対応は待たなしの状況にあり、非常用発電機を有効活用し、他の備品も合わせて整備を行ってまいります。

(Ⅰ) 地震などによる被害を最小限におさえる準備

(Ⅱ) 水道光熱費削減の実行と建物・設備の効率的保全の継続

(Ⅲ) 火災予防と交通事故防止の施策

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	地震などによる被害を最小限に抑える準備	(a)本館非常用発電機新設に伴い新館も含めた機能の確認 (b)防災避難訓練の実施と備蓄品の点検	(a)ー1 防災避難訓練の実施に合わせて非常用発電機の取り扱い要領と機能の確認を実施 (a)ー2 発電機、維持管理方法の確認 (b)ー1 10月避難訓練の実施(避難経路、避難場所及び危険箇所等の確認) (b)ー2 備蓄機器取扱い方法の確認と食料、飲料水の点検 (b)ー3 安否確認メールの定期的な発信と返信方法の確認
(Ⅱ)	水道光熱費削減の実行と建物・設備の効率的保全の継続	(a)LED照明に交換の促進 (b)水道使用量の削減 (c)空調設備の設定温度の管理	(a)ー1 残存している蛍光照明からLEDに交換を進めます (a)ー2 職員協力のもと、使用していない部屋はこまめに消灯を心掛ける (b)各自自覚をもって、必要以上の使用はせず、また出し放しにしないよう節水に心掛ける (c)ー1 夏季は26℃以上、冬季は24℃以下に設定、使っていな

		(d)建物。設備の効率的保全の継続	<p>い部屋のスイッチを OF、節電に努める</p> <p>(c)ー2 定期的にフィルターなどのメンテナンスを実施</p> <p>(d)ー1 浄化槽水中フロア等の整備、新館ダムエーダーの更新及び消防誘導灯の交換</p> <p>(d)ー2 自主補修、自主メンテナンスの励行</p> <p>(d)ー3 定期的なライフライン設備の見回り点検</p>
(Ⅲ)	火災予防と交通事故防止の施策	(a)火災予防の対策 (b)交通事故防止の対策	<p>(a)ー1 4月、10月に消防訓練の実施、自動火災報知設備の取扱い説明、消防署への通報及び初期消火、避難誘導訓練等を行う</p> <p>(a)ー2 年2回の消防設備点検の実施</p> <p>(a)ー3 避難の際、妨げにならないよう避難通路、避難階段等の整理整頓の確認</p> <p>(b)ー1 交通安全週間に合わせ、安全スローガン、安全重点事項を提示、ゆとり運転教育を実施する</p> <p>(b)ー2 施設車両運転職員にアルコール検知器にてチェック確認を実施</p> <p>(b)ー3 車両管理台帳を作成、点検ミスが無いよう管理し、日常点検や車両の清掃もこまめに実施</p>

8. 総務課

〔基本目標〕

- ① ICT 機器の導入に伴う業務の効率化及び職員の負担軽減への取り組み。
- ② 新たに導入した非常用自家発電設備を含めた災害時事業継続計画の見直し。
- ③ 職員育成に向けた資格取得や研修受講を促進し、新たな加算取得に向けた人員体制の構築や運営体制の整備。

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	敬和会組織の継続的安定	(a)安定運営に必要な人員の確保、適材適所な人員配置 (b)介護報酬改定を踏まえ、必要な委員会や会議等の設置 (c)医療機関との連携強化	(a)各事業所における必要人員数の把握、職員面談等を行った上での部署の異動や昇格等の人事異動を検討し、組織体制の強化を図っていく (b)事業継続計画に対する委員会の新設や、感染症、虐待等の既設委員会の取り組みを強化していく (c)協力医療機関等との連携を強化し、ご利用者の安心・安全を確保するとともに、新たな加算取得に向けた準備に取り組んでいく
(II)	安定的持続可能な健全経営	(a)安定的な収入確保に向けた各事業における高稼働率の維持 (b)介護報酬改定を踏まえた新たな加算の取得 (c)物価高騰に対する対策を強化する	(a)令和6年度当初予算で計上した各事業所における介護報酬収入を目標に、入所施設においては空床期間の縮小、居宅施設においては利用者確保に努め、安定的な収入確保に努める (b)短期入所における看取り加算や施設等における認知症対応に関する加算、医療連携に関する加算等取得可能な加算算定を目指していく (c)取引業者の見直しや新たな省エネ機器の導入等、物価高騰による経費の増大を抑える施策を検討する

<p>(Ⅲ)</p>	<p>職員育成と定着へのシステム構築</p>	<p>(a)ICT 導入による業務の効率化及び職員の負担軽減</p> <p>(b)職員個々の育成計画を作成し外部研修受講や資格取得の支援を行っていく</p> <p>(c)積極的な休暇の取得並びに業務負担となる残業等の低減に努める</p>	<p>(a)介護記録等に ICT を導入し、業務の効率化や負担軽減を図るとともに、ナースコール等の既存の機器との連動を行うことにより、データに基づいたケアの実践を目指していく</p> <p>(b)職員のキャリアパスに応じた研修の受講や資格取得支援を本年度も継続して実施していく</p> <p>(c)適正な人員配置を行うことにより、より休暇を取得しやすい体制を整えるとともに職員の負担となる残業を減らすことにより、職員の負担を低減し、安定的に就業できる環境を整え、離職率の低減に努めていく</p>
------------	------------------------	--	---

9. 研修センターけいわ

〔基本目標〕

- ① 施設内職員の有資格化を推進し、職員全体のスキルアップを図る。
- ② 一般からの募集を積極的に図り、人材確保に繋げる。
- ③ 講師を担当する法人職員の介護技術の向上を図る。

〔実施概要〕

- ① 事業所番号 第S140号
- ② 研修指定番号 第S14001号
- ③ 研修の名称 研修センターけいわ 介護職員初任者研修（通学）
- ④ 県への令和6年度開講届
県への開講届を令和6年1月25日付で提出
- ⑤ 実施計画（案）
 - (a) 第1回（令和6年5月1日～令和6年9月25日）
 - (b) 第2回（令和6年10月9日～令和7年3月12日）

研修 個別番号	コース名	研修会場	研修期間	募集開始日	定員
1	研修センターけいわ介護職員初任者研修（通学）	新館3階会議室 別館3階多目的ホール	令和6年5月1日 ～令和6年9月25日	令和6年 4月1日	10名
2	研修センターけいわ介護職員初任者研修（通学）	新館3階会議室 別館3階多目的ホール	令和6年10月9日 ～令和7年3月12日	令和6年 9月1日	10名

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(Ⅰ)	敬和会組織の継続的安定	(a)事務局としての委員会の動きを充実させる (b)法人との連携強化	(a)委員の増員等、現場を理解した事務局の業務編成を行う (b)毎月の会議を行い、状況や課題等、情報共有し連携を図る
(Ⅱ)	安定的持続可能な健全経営	(a)職員の有資格化 (b)感染症対策の強化	(a)少人数でも定期的に開校出来る環境をつくる。また、SNS等を活用し地域へ情報発信し、外部受講生を獲得へ繋げる。全職員の有資格化を達成する (b)講義前に検温や体調チェックを行う。体調不良者は後日補習

		(c)研修終了後の人材確保	<p>を行う</p> <p>(c)講義、実習を通して敬和会での理念、介護を理解して貰い、就労へ繋げる</p>
(Ⅲ)	職員育成と定着へのシステム構築	<p>(a)理解度の高い講義の展開</p> <p>(b)講師負担の軽減</p>	<p>(a)月 1 回委員会を開催し、講義内容を共有。リアクションペーパー内容を共有し講師の振り返り機会を作る事で、講師のクオリティを向上させる</p> <p>(b)会場準備等を委員会でサポート。また悩み等を抱え込まない様に、随時相談機会を作る</p>

令和 6 年度 『けいわ荘』年間行事予定表

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 月 合同入社式	水 研修センターけいわ	土	月	木 納涼祭	日	1 月 防災避難訓練	金 給食委員会 管理会議	日	水 元日・正月祝 水 納涼祭	土	1 月
2 月 新入社員研修会 (停木園工会講師)	木 給食委員会 管理会議	日	火 敬老会実行委員会	金 給食委員会 管理会議	月	2 月 防災避難訓練	土	月	木 正月月	日	2 月
3 水 新入社員研修会 (停木園工会講師)	金 憲法記念日	月	水 研修センターけいわ	土	火 敬老会実行委員会	水	日 文化の日	火 誕生会	金 正月月	月	3 月
4 木 新入研修会①	土 子どもの日	火	木 研修センターけいわ	日	水 研修センターけいわ	木	月 祭日	水 研修センターけいわ	土	火	4 月
5 金 新入研修会②	日 子どもの日	水 研修センターけいわ	金 研修センターけいわ	月	木 敬老会実行委員会	金	火 健康診断	木 研修センターけいわ	月	水 研修センターけいわ	5 月
6 土	月 祭日	木 給食委員会 管理会議	土	火 研修センターけいわ	金	日 誕生会	水 研修センターけいわ	金 給食委員会 管理会議	火 研修センターけいわ	木	6 月
7 日	火	土	日 元日の日	月 元日の日	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	土 給食委員会 管理会議	日 研修センターけいわ	金	7 月
8 月 新入研修会③	水 研修センターけいわ	日	火 研修センターけいわ	金 研修センターけいわ	月 元日の日	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	8 月
9 火	木 生活支援課係長会議	日	火 研修センターけいわ	金 研修センターけいわ	月 元日の日	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	9 月
10 水 施設連絡会議	金	月	水 生活支援課係長会議	土	火 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	10 月
11 木 生活支援課係長会議 各中庭歌	土	火	木 生活支援課係長会議	日	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	11 月
12 金	日 母の日	水 研修センターけいわ	金 生活支援課係長会議	月 母の日	木 生活支援課係長会議	火	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	12 月
13 土	月 祭日	木 生活支援課係長会議	土	火 研修センターけいわ	金	水 生活支援課係長会議	木	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	13 月
14 日	火	金	日 祭日	月 祭日	火 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	14 月
15 月 納涼会実行委員会	水 研修センターけいわ	土	月 祭日	月 祭日	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	15 月
16 火	木 令和5年度最終決算	日 父の日	火 研修センターけいわ	金	月 敬老の日	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	16 月
17 水	金	月	水 研修センターけいわ	土	火 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	17 月
18 木 安全管理対策委員会	土	火	木 納涼会実行委員会	日	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	18 月
19 金 期別総会	日	水 研修センターけいわ	金 研修センターけいわ	月	火 安全管理対策委員会	火	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	19 月
20 土	月	木 安全管理対策委員会	土	火	金 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	20 月
21 日	火	金 納涼会実行委員会	日	水 研修センターけいわ	土	月	火 安全管理対策委員会	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	21 月
22 月	水 研修センターけいわ	土	月 研修センターけいわ	日	火 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	22 月
23 火	木 経営報酬P.U.会議 合同係長会議	日 夏休み	火 研修センターけいわ	月 研修センターけいわ	火 研修センターけいわ	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	23 月
24 水	金	月	水 研修センターけいわ	土	火 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	24 月
25 木	土	火	木 研修センターけいわ	日	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	25 月
26 金	日	水 研修センターけいわ	金 研修センターけいわ	月	火 研修センターけいわ	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	26 月
27 土	月	木 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	火	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	27 月
28 日	火	金	日 研修センターけいわ	月	火 研修センターけいわ	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	28 月
29 月	水 研修センターけいわ	土	月 研修センターけいわ	火	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	29 月
30 火	木	日	火 研修センターけいわ	月	火 研修センターけいわ	火 研修センターけいわ	水 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	30 月
31 金	金	月	水 研修センターけいわ	火	水 研修センターけいわ	木	金 研修センターけいわ	日 研修センターけいわ	土 研修センターけいわ	金	31 月

令和6年度 事業計画書

社会福祉法人 敬和会

けい わ 保 育 園

けい わ 星 の 子 保 育 園

けいわ保育園

I. 基本理念

1. けいわ保育園は、子ども一人ひとりの個性を受け入れ、大切に育てます。
2. けいわ保育園は、豊かな保育環境を用意し、遊びのなかで子どもの成長・発達を育みます。
3. けいわ保育園は、地域社会との交流を通じて「和」を学び、生きることの「意欲」・「思いやり」を育てます。
4. けいわ保育園は、子育て支援・育児支援を行います。

II. 重点取り組み事項

- (I) 専門性に基づいた保育の実践
- (II) 人材確保（採用・定着）の強化と人材育成
- (III) 同法人内での協力体制の促進
- (IV) 地域交流と育児支援・保育の情報発信
- (V) 稼働率100%を目指した、安定した運営

III. 達成目標及び具体的取り組み

	重点取り組み事項	達成目標	具体的取り組み
(I)	専門性に基づいた保育の実践	(a)子ども自身が能動的・主体的に動ける保育環境の設定 (b)前年度の反省を元に行事や保育の検討 (c)役割の明確化と連携 (d)保育会議の活用	(a)行事や子ども自身が興味を持った事柄を保育に活かし、生き生きとした活動に結び付ける。「運動会ごっこ」「お餅つきごっこ」等 (b)子ども自身の取り組みを見ながら、発展的に行事や保育を見直す。保育士の言葉かけ、対応を子ども主体に見直す (c)－1BCP作成に向けて、けいわ星の子保育園と共同でチームを作る (c)－2 子育て支援のための、情報発信を検討する (d)発達表やケース記録を活用した事例検討会議を行う
(II)	人材確保（採用・定着）の強	(a)定期的なホームページの更	(a)－1 ホームページ更新ができる

	化と人材育成	新と保育の情報発信 (b)子育て支援・発達支援の分野に特化した人材育成と研修受講	人材の育成 (a)ー2 情報発信の内容を検討する会議 (b)ー1 他の相談機関との連携の強化 (b)ー2 子育て支援や発達支援のための研修受講
(Ⅲ)	同法人内での協力体制の促進	(a)両園の主任保育士・副主任保育士の話し合い (b)けいわ・けいわ星の子 土曜保育合同実施の検討	(a)定期的な合同会議 (a)ー1BCP 作成に向けて (a)ー2 防災用品を確認 (a)ー3 防災体制を両園話し合い、整合する (b)ー1 保育課等調整 (b)ー2 合同保育の体制づくり
(Ⅳ)	地域交流と育児支援・保育の情報発信	(a)離乳食口座の実施 (b)子育て情報の発信	(a)両園で共同実施に向けての話し合い (b)両園で合同の子育て情報の発信に向けて話し合い
(Ⅴ)	稼働率100%を目指した安定した運営	(a)子育て情報の発信 (b)自己評価、保育の振り返りによって適切な保育を行う	(a)地域での認知度を上げる (a)ー1 ホームページの更新 (a)ー2 子育て支援事業の実施 離乳食口座等 (a)ー3 保護者への保育の情報発信 (b)子どもの人権に考慮した言葉かけ、保育を会議や園内研修で考える

Ⅳ. 行事計画

時期	行事内容
4月	・新入進級式（園児のみ参加）
5月	・内科健診 ・園外保育
6月	・お店屋さんごっこ ・歯科健診 ・プラネタリウム（5歳児）・プール開き
7月	・お楽しみ会（5歳児）
8月	
9月	★地震引き渡し訓練・敬老の日の集い・遠足（防災の丘公園3・4歳児） ・内科健診
10月	★運動会（3歳児～5歳児のみ参加）・芋ほり遠足（5歳児）

	・プラネタリウム（5歳児）・消防署見学（5歳児）・尿検査（3歳児以上）
11月	・内科健診
12月	★生活発表会・クリスマス会
1月	・お餅つき
2月	・わくわく会
3月	・お別れ会・お別れ遠足（5歳児）★次年度保護者説明会（5歳児以外の保護者） ★卒園式（5歳児のみ保護者参加）

毎月：誕生会・身体測定（身長・体重）・避難訓練・スポーツチャンバラ（4・5歳児）

その他：調理保育（3歳児～5歳児）・リズム遊び（5歳児）・花育（5歳児）

戸外給食（3歳児～5歳児）

★個人面談（幼児年1回）

★クラス懇談会（乳児：年2回・幼児：年1回）

★保育参観日

⑨ ★は保護者参加の行事

けいわ星の子保育園

I. 基本理念

1. 家庭的な温かい環境のもとで、一人ひとりをしっかり受け止め、情緒の安定した生活ができるように大切に育てます。
2. 豊かな保育環境を提供し、夜間保育園ならではの多様な体験を積むなかで、子どもの成長を育みます。
3. 異年齢児保育・世代間交流・地域交流などの関わりを通じ、優しい心と生きる力を育みます。
4. 地域の子育て支援・育児支援を行います。

II. 重点取り組み事項

- (I) 保育者のチーム体制の強化
- (II) ICT を活用した業務効率化
- (III) 法人内での協同事業の促進
- (IV) 地域における認知度の向上
- (V) 園運営安定化の為に定員充足

III. 達成目標及び具体的取り組み

重点取り組み事項		達成目標	具体的取り組み
(I)	保育者チーム体制の強化	(a)職員各自が各々の役割を理解し、実行できるようになる	(a)ー1 前年度と同じ職員配置にすることで、各自の考察反省をすぐに活かせるようにする (a)ー2 クラス会議を廃止し、日常的な職員間コミュニケーションを重視する。その中で各クラスリーダーの意識向上を図り、チーム体制の強化につなげる
(II)	ICT を活用した業務効率化	(a)全職員がスムーズに ICT が扱えるようになり、各種作業を効率的に行えるようになる	(a)ー1 全てを ICT 化するのではなく、できることから取り入れていき職員、保護者共に戸惑いのないようにする (a)ー2 監査上必要な箇所が抜けていないかを含め、市や県に確認をしながら進める
(III)	法人内での協同事業の	(a)合同保育実現に向けて、両園	(a)将来的に土曜や夜間の合同保

	促進	職員の協働機会を増やす (b)両園の強みを活かしながら協働する (c)BCP の作成	育実施を目指し、スポちゃん、花育以外にも合同保育の機会を増やし、職員間の協働体制作りを進める (b)子育て支援活動や園の情報発信など、各園の強みをもって補い合える園運営を行う (c)緊急時の対応は法人全体で検討する必要があるため、共同で作成する
(Ⅳ)	地域における認知度の向上	(a)SNS での情報発信を通して保育の様子を伝える (b)子育て支援活動を通して来園者を増やす	(a)導入した ICT を活用し、SNS での情報発信をコンスタントに行えるようにする (b)コロナ禍で中止になっていた対面での子育て支援活動を再開する
(Ⅴ)	園運営安定化の為に定員充足	(a)未満児を獲得しながら、総定員数での充足を目指す (b)次年度の園児数確保も視野に入れた広報活動	(a)0.1 歳児の定員枠に余裕があるので、市とも情報共有の上、希望者があればすぐに獲得する (b)SNS での情報発信を在園児保護者にも見てもらう機会を増やし、実践している保育内容がより詳しく分かってもらえるようにすることで3 歳児に上がる際の幼稚園への転園を減らす

Ⅳ. 行事計画

時 期	行 事 内 容
4 月	・進級式(4/1)・家族交流会(4/27)
5 月	・内科健診(5/22)・苗植え遠足
6 月	・歯科検診 ・0.1 歳児懇談会(6/14)・職員研修会 (6/14) ・5 歳児懇談会(6/26)
7 月	・七夕会・お楽しみ保育 or お泊り保育・カレーパーティー
8 月	・納涼祭・夏祭りごっこ
9 月	・引き渡し訓練 (9/2)・3.4 歳児懇談会(9/18)

	・内科健診・お月見会(9/27)
10月	・運動会()・いもほり遠足
11月	・2歳児懇談会(11/22)・職員研修会(11/22)・戸外遠足・内科健診
12月	・クリスマス会(12/6、12/13)・お餅つき
1月	・こま廻し会・カルタ取り大会・5歳児個人面談
2月	・節分会・生活展(2/10~14)
3月	・ひな祭り会・お別れ遠足・進級説明会(3/7)・卒園式(3/22)

- ☆ 避難訓練 : 毎月実施
- ☆ 身体測定 : 毎月実施
- ☆ 誕生会 : 毎月実施
- ☆ スポチャン : 4・5歳児参加(けいわ保育園にて実施。10時開始)
- ☆ 花育 : 5歳児参加(けいわ保育園にて実施予定。10時開始)
- ☆ 遠足 : 気候の良い目的に合った時期に実施(3歳以上)
- ☆ 懇談会 : 日程表示、詳細はクラス担任より
- ☆ 子育て支援事業 : 全園児参加・一般
- ☆ 個人面談 : 随時

